# 新型コロナウイルス感染症と予防接種

## 1 新型コロナウイルス感染症とは

国際的な病名はCOVID-19。潜伏期間は、オミクロン株となってからはそのほとんどが $2\sim3$ 日と短くなっています。呼吸器感染症のため、症状は発熱・咽頭痛・咳などが中心となり、高齢者での重症化率は高いとされています。

## 2 新型コロナウイルス感染症予防接種の有効性

ワクチン接種には、発症予防や重症化(入院)予防の効果があることが国内外の複数の報告で確認されています。既感染者であっても再感染する可能性はあるため、ワクチン接種による追加の発症予防効果が得られることや、重症化(入院)予防効果は発症予防効果より高いといわれています。

## 3 新型コロナウイルス感染症予防接種の副反応

接種後に接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、様々な症状が確認されていますが、ほとんどが軽度又は中等度であり、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められてないと判断されています。なお、重篤な副反応としてアナフィラキシーが報告されており、接種後30分は健康観察をすること並びに接種後数日の間に胸痛、息切れ、ぐったりするなどの症状があった場合は医療機関を受診してください。

#### 4 予防接種を受ける前に

### (1) 一般的注意事項

新型コロナウイルス感染症の予防接種について、必要性や副反応についてよく理解しましょう。気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に担当の医師や看護師、市町村担当課に質問しましょう。十分に納得できない場合には、接種を受けないでください。

予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。<u>接種を受ける方が責任をもって記入し</u>、正しい情報を接種医に伝えてください。

## (2)接種を受けられない方

以下の方は、接種を受けることができません。

- 発熱している。
- ・重篤な急性疾患にかかっている。
- ・この予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴がある方
- ・その他、予防接種を行うことが不適当な状態にあると医師が判断する方

#### (3)接種に注意が必要な方

以下の方は、接種にあたって注意が必要なので、あらかじめ医師に相談してください。

- ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する方
- ・予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈した ことがある方
- ・過去にけいれんの既往のある方
- ・過去に免疫不全の診断がなされている方および近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ・抗凝固療法を受けている方、血小板減少症又は凝固障がいを有する方

### (4) 他のワクチンとの同時接種について

2種類以上の予防接種を同時に同じ接種対象者に対して行う「同時接種」は、医師が特に必要と認めた場合に行うことができます。

#### 5 予防接種後の注意事項

- ・予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師(医療機関)とすぐに連絡を 取れるようにしておきましょう。
- ・新型コロナワクチン接種後の副反応の多くは 24 時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意しましょう。
- ・入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- ・接種当日はいつも通りの生活をしてもかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

### 6 副反応が起こった場合

予防接種の後、まれに副反応が起こることがあります。また、予防接種と同時に、ほかの病気が偶然重なって現れることがあります。

予防接種を受けた後、接種した部位が痛みや熱をもってひどくはれたり、全身のじんましん、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱などが現れたら、医師(医療機関)の診療を受けてください。

《問合せ先》 多摩市 健康推進課 電話 042 (376) 9111 八王子市 健康づくり推進課 電話 042 (645) 5102 町田市 保健予防課 電話 042 (725) 5422 日野市 健康課 電話 042 (581) 4111 稲城市 健康課 電話 042 (378) 3421